

ほくほくフィナンシャルグループ

Hokuhoku Report

ほくほくレポート 2011

地域貢献(CSR活動)

地域の一員としてより豊かな
未来づくりのために

支店のある町

南砺市 / 美瑛町 / 富良野市

駐在員レポート

NEW YORK

【特集】

Think Globally, Act Locally

ほくほくFGの海外進出支援

お客さまの元気を、地域の元気に

ほくほくFGの農業支援

北海道の潜在「農力」を高めたい

■ 本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化などにより、見通しと異なる可能性があることにご留意ください。



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

02 **[特集]** **Think Globally, Act Locally**

03 ほくほくFGの海外進出支援

お客さまの元気を、 地域の元気に

05 ほくほくFGの農業支援

北海道の 潜在「農力」を高めたい

07 支店のある町

07 南砺市

香り高い文化と歴史ある町

北陸銀行 城端支店／福光支店／井波支店／福野支店

09 美瑛町／富良野市

雄大な風景と一体化し、心と身体を
リセットする町

北海道銀行 美瑛支店／富良野支店

11 地域貢献(CSR活動)

地域の一員としてより豊かな 未来づくりのために

11 地域密着活動

地域のお客さまとの絆を第一に

12 金融教育

次世代を担う人たちに金融を知ってもらうために

産学連携支援活動

地元企業と学生との交流を支援

環境への取り組み

環境の維持・保全に配慮

13 芸術文化貢献

感動のある豊かなくらしづくりをサポート

14 スポーツ振興

地元のチームを盛り上げ街も元気に

15 駐在員レポート

NEW YORK

地域経済の国際化を
ニューヨークからサポート

北陸銀行ニューヨーク駐在員事務所

17 CS向上への取り組み

19 PICK UP NEWS

お客さまにいつも寄り添うサービス

23 北海道銀行60年のあゆみ

25 中期経営計画

27 業績ハイライト

29 企業概要

30 店舗ネットワーク



取締役社長
高木 繁雄
(北陸銀行 頭取)

取締役副社長
堰 八 義博
(北海道銀行 頭取)

平成二十三年七月

東日本大震災で被災された皆さまに、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

このたび、私どもの活動を「ほくほくレポート2011」としてまとめました。この冊子を通じて当社グループへのご理解が深まり、身近に感じていただければ幸いです。

5月には北陸銀行と北海道銀行の基幹システムを横浜銀行との3行共同利用システムへ移行いたしました。皆さまのご協力で厚く御礼申し上げますとともに、引き続きお客さまの利便性の向上に努めてまいります。

今後とも変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

ほくほくレポート
発刊に寄せて

【特 集】

Think Globally, Act Locally

ほくほくFGの海外進出支援／ほくほくFGの農業支援



地域とあなたのために、もっと。

「ほくほく」という名称は、
北陸銀行、北海道銀行の頭文字「北」（ほく）を活かしつつ、
温かみと親しみやすさを表現しています。
わたしたちは、この名のように地域のみなさまに親しまれ、愛される金融機関として
「地域とあなたのために、もっと。」を合言葉に、
地域の特色にあった、
お役に立てる金融サービスを提供してまいります。

お客さまの元気を、地域の元気に

さまざまな製造業が発展してきた北陸地区では、長期化する円高や縮小する国内市場を背景にフィールドを海外に拡げるお取引先が増えています。

ほくほくFGの海外ネットワーク

■ 駐在員事務所

上海、瀋陽、大連、シンガポール
ユジノサハリンスク、ロンドン、ニューヨーク

■ 海外行政機関との経済協力協定

中 国 大連、瀋陽、上海、遼寧、長春、蘇州、広東、
ハルビン、寧波、無錫、昆山、營口、金州新区 等
ベトナム ベトナム政府
ロシ ア ハバロフスク、サハリン

■ 外銀等との提携

中国・台湾 中国銀行、交通銀行、台湾FISC社
ASEANを含むアジア スタンダードチャータード銀行、カシコン銀行、
ベトナム銀行、バンクネガラインドネシア、
インドステイト銀行
欧米ほか ドイツ銀行、みずほコーポレート銀行

■ 国内外におけるお取引先企業の会員組織（23年3月末現在）

会員組織	会員数
ほくりく長城会	1,071社
ほっかいどう長城会	240社
上海長城会	197社
ほくほくASEAN会	150社
大連長城会（23年7月発足）	—

充実した支援体制で 海外進出をバックアップ

海外企業とのビジネスマッチングをはじめ、海外進出のお手伝い、現地情報のご提供など、ほくほくフィナンシャルグループ（以下、ほくほくFG）は、グローバル化する企業活動を積極的に支援しています。

ほくほくFGのお取引先が数多く進出している中国・ASEAN・極東ロシア地域に5つの駐在員事務所を設け、ニューヨーク、ロンドン駐在員事務所を合わせ、アジア、北米、欧州にまたがる24時間グローバルネットワークを整備

しています。

また、海外ビジネス支援の質をより高めるため、ほくほくFGでは現地の有力銀行との提携や、行政機関との経済協力協定を結んでおります。さらに、海外進出されたお客さまの相互交流の場として、中国ビジネスに携わるお取引先を組織化した「ほくりく長城会」、「ほっかいどう長城会」、「上海長城会」、「大連長城会」、そしてシンガポールやマレーシア等への進出取引先で構成する「ほくほくASEAN会」を運営しています。

ビジネスマッチングの取り組み

ほかほかFGは、海外での最初の商談会を平成17年に上海で開催しました。当時は、お取引先と中国企業とのビジネス機会が拡大していった時期でもあり、地方銀行の中では先駆的な取り組みでした。

初めての商談会は、直前まで商談スケジュールが決まっ



「中国ビジネスマッチング商談会in上海」

(平成17年12月)

地銀初の大規模な上海での商談会。静岡銀行、千葉銀行、八十二銀行と合同で開催。1,500社の集客、3,000件の商談が行われた。

「日中ものづくり商談会@上海2010」

(平成22年9月)

全国の地銀等26団体と合同で開催。開催期間を2日間に拡大し、3,200社を集客、8,500件の商談が行われた。



いない、予定していた中国人バイヤーが来ないなど、トラブル続きでした。それでも、「とにかくやってみよう」という意気込みで、何とか切り抜けられたと、今では感慨深く振り返ることが出来ます。

以来、毎年上海で開催しており、試行錯誤を繰り返しながら、ノウハウを蓄積し、最近の商談会では高い成約率となっています。

ニーズへの柔軟な対応

海外ビジネスの形態は、かつての生産拠点としての工場建設から、消費地の拡大へと変化しています。

「より廉価で原材料調達したい」という製造業中心のニーズに加え、最近では業種の広がりとともに「販売先を拡大したい」というニーズが高まっています。

かつて上海駐在員事務所勤務した際、「自社製品をなんとか中国で販売していきたい」というお取引先の強い思いを何度も聞く機会がありました。

このようなニーズに対し、平成21年からは巨大な中国市場への販路拡大にむけて、現地の食品バイヤーを招き『中国バイヤーズ・サミット』を富山と金沢で開催しています。

また、中国一極集中でなく、産業集積の進んでいるタイや、積極的に外資誘致を行い、人件費水準も相対的に安いベトナム等、アジア全体に目を向ける企業が増えております。



「タイビジネスセミナー」

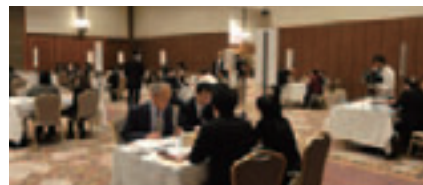
(平成23年2月)

タイ王国大使館経済・投資事務所及びカシコン銀行から講師を招き、北陸三県で開催。



インドネシア大手・バンクネガラインドネシアとの業務提携締結

(平成23年4月)
お取引先の動向に合わせ、外銀との連携を進めている。



「中国バイヤーズ・サミットin富山・金沢」

(平成22年10月)

巨大な中国市場への販路拡大に向けて開催した商談会。食品メーカーの担当者が、中国のバイヤーに自慢の商品を売り込む。



中条 宏志

北陸銀行国際業務部
アジア室長
(平成15年から平成23年
1月まで上海駐在員事務所
所長として勤務)

このようなお取引先に対する支援体制を充実させるため、政府機関や外銀との協定による海外ネットワークの整備を進め、各地での商談会の開催や、現地政府関係者を講師に招いたビジネスセミナーを開催しております。

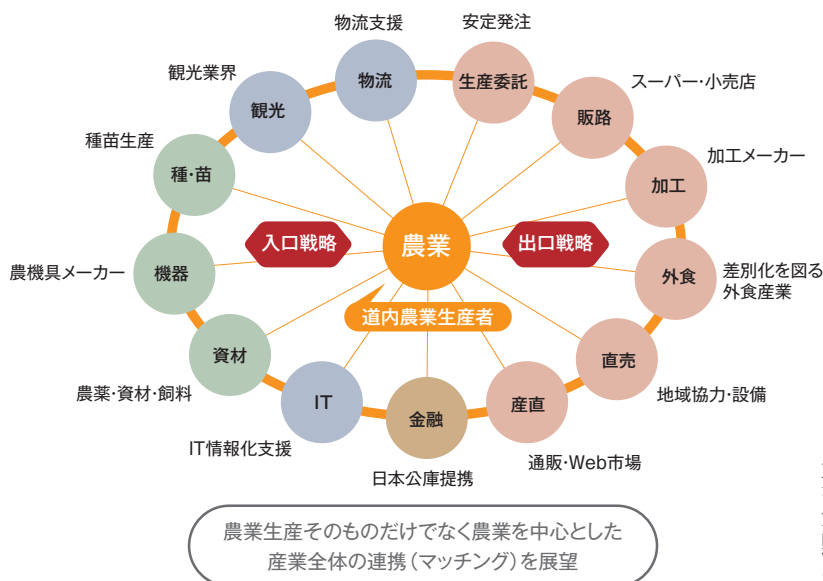
地元企業のお客さまを応援するべく、本支店をはじめ、海外駐在員事務所と本部そして外部の提携ネットワークの総力を結集し、現地の市場動向など多岐に渡る情報や、弁護士・コンサルタントの紹介など、タイムリーで有用な情報提供を心がけています。

北海道の潜在「農力」を高めたい

広大な土地に展開する北海道農業は、国内最大の食糧基地として、
また地域の基幹産業として新たなステージに立っています。

道銀アグリパートナーズ

農業を取り巻く協調支援体制の構築(アグリパートナーズ)イメージ



道内の農業と周辺産業とのネットワークを作り、情報交換を目的とした会員組織。
平成23年3月末現在42社が加入。

- 日本政策金融公庫等と連携し、金融機能も提供
- 財団法人北海道農業企業化研究所(通称: HAL財団)との業務提携
→ 農業分野への様々なスキームの共同研究

北海道と農業

豊かな自然と広大な大地に恵まれた北海道の農業は、日本全国さらには世界に向けた「食」を発信する産業として大きな可能性を秘めています。

食の安全に対する意識の高まりや、生活スタイルが多様化するなかで、全国的に農業に参入する企業や個人が増えており、また差別化した農産品を指向する生産者も

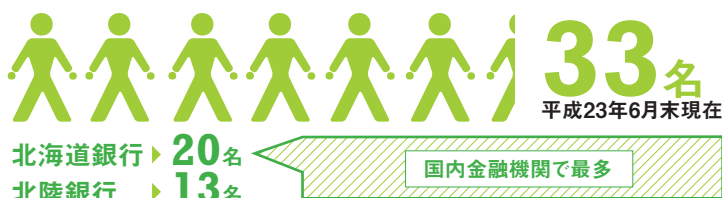
増えています。

このような中、北海道の農業は従来の生産中心に加え、付加価値を高めることが求められています。ほくほくFGでは、農業やこれを取り巻く企業の皆さまの多様化するニーズにお応えすべく、地域金融機関ならではの様々な取り組みを行っています。

アグリビジネス推進室始動

北海道銀行では、従来は農業分野のお取引は少な

● 農業経営アドバイザー資格取得者



*1 (株)日本政策金融公庫農林水産事業が認定するアドバイザー制度。

農業経営の発展を支援するためのアドバイスに必要な、各種分野における知識、ノウハウを有するものを育成し、農業経営の担い手の育成に寄与することを目的に平成17年2月に創設された。

かつた一方、スーパーや小売店など流通業界に多くの取引があり、また、農業への応用が期待される新しい技術を生み出している機械や資材関連の企業とも取引があります。農業と他業種の橋渡し役となつて北海道農業の潜在力を高めたい、そんな思いからアグリビジネス推進室が設立されました。

そして、農業生産者と同じ

新しい形の
ビジネスマッチング

目線で対話ができるよう、農業が盛んな地域の職員を中心に農業経営アドバイザーや、本部職員ではJGAP指導員といった専門資格の取得を奨励し、農業向け融資のサポート体制の充実に取り組んでいます。

平成17年から毎年『食』に関する商談会を開催してい

農業生産者のため「食」の特別商談会in上川(平成22年10月)

道内外のバイヤーや食品加工・外食産業の担当者を招き、農業者の生産現場の視察や意見交換会を実施した。



生産者とバイヤーとの意見交換・個別商談



バスで農業現場を視察

新たな取り組みへ

ます。商談会は年々盛況となつていますが、農業製品の成約率は低迷が続きました。その理由のひとつは、生産者の「よいものを作りたい」という思いと、バイヤーの「よいものを仕入れたい」という思いの間にあるギャップでした。生産者はそれぞれ時間をかけてこだわりの商品を生産していますが、限られた商談会の時間のなかで、初めて会ったバイヤーに農産品に込めた思いまで伝えることは簡単なことではありません。そこで、よりお互いを知るために、バイヤー自身に実際に畑や牛舎まで足を運んでもらい、生産者のこだわりを実感してもらう機会や、マーケットの声を生産者に直接伝える意見交換の場を設けました。このような視点で商談会の構成を見直した結果、農産品の成約率が向上しています。

食の安全とともに、農業分野において大きな課題であった「天候に左右されにくい安

アグリビジネスフォーラム2011(平成23年6月)

国内外の専門家が植物工場運営の例や課題などを紹介。農業者や建設業者ら約1,000人が参加



21社のブース展示と個別面談を設定



植物工場のミニチュアプラントを展示



会場では講師による5つのセミナーを開催

定的な食料の確保」を解決する手段として、『植物工場』への期待が高まっています。農閑期にあたる冬期間の雇用対策・所得確保にもつながるため、植物工場ビジネス導入の可能性を探るフォーラムの開催などを行っています。また、酪農が盛んな十勝や釧路では、酪農家が世界的な飼料価格の高騰に頭を悩ませています。一方、ソビエト崩壊



後、ロシア極東地域には多くの農場で耕作が放棄されたままとなっています。北海道の農業生産者が、寒冷な気候で培った農業技術を活かし、広大なロシア極東地域で自給飼料を作ることができるのではないかと、その可能性を探る取り組みも始めています。



平成22年10月に行ったロシア極東農業視察

*2 農場・団体が「適切で効率的な農場管理」を実現し、JGAP 認証を取得・継続するために、その指導・相談または農場管理業務の助言・支援を行う知識のある者(NPO法人日本GAP協会)

支店のある町

南砺市(富山県)

香り高い文化と歴史ある町

南砺市は、富山県西部に位置し、山間部には、世界遺産の五箇山合掌造り集落があり、平家の落人の哀愁を奏でる麦屋節や、約1400年前から歌い継がれるこきりこ節などの五箇山民謡があります。

平野部には、家並みが美しい越中の小京都・城端や、版画家の棟方志功が約7年間暮らしていた福光、そして瑞泉寺門前の古い町並みから木槌の音が響く信仰と木彫りの里井波など、香り高い歴史や文化があります。

世界遺産の
相倉合掌造り集落

約1400年歌い継がれる
五箇山民謡「こきりこ節」

平家落人の
哀愁を奏でる「麦屋節」

五箇山の気候を知り、人びとの生活の知恵を知り、受け継がれてきた伝統を知り、助け合いによって守り継がれてきた文化を知ることによって、さらなる魅力が見つかります。また訪れたい、心あたたまる場所、それが五箇山合掌集落です。

訪れるたびに
好きになる、
五箇山の原風景。



江戸時代には五箇山などで養蚕された繭を城端で加工し、生糸を取り出し、質のいい絹織物として加賀藩に納めていました。やがて「加賀絹」として京都の絹問屋と取引され、江戸・上方に大きな需要を生むことになりました。明治時代になると、約9割の家庭に手織機が置かれ、町のあちこちから機織りの音が聞こえてきたといえます。



城端絹織物

名工の技「井波彫刻」

楠・ケヤキ・桐を材料とし、荒彫りから仕上げ彫りまで200本以上のノミ、彫刻刀を駆使する井波の彫刻技術。宝暦・安永年間（1763～1774）の井波別院瑞泉寺再建の折、京都本願寺の御用彫刻師から伝えられたのが、井波彫刻の始まりとされています。



時代の流れとともに豪華さを誇った寺社彫刻から、今は民家の室内彫刻へと移り変わり、なかでも住宅欄間はとくに有名です。名工の子孫によって受け継がれ、培われてきた井波彫刻の高度な技術は、全国一の規模を誇り、国の伝統工芸品に指定されています。



南砺市と北陸銀行



瑞泉寺門前の八日町通り



越中の小京都城端の町並み

福光支店、城端支店の北陸銀行の4つの支店があります。

平成16年、城端町、平村、上平村、利賀村、井波町、井口村、福野町、福光町の8つの町村が合併し、「南砺市」が誕生しました。白山国立公園等を含む森林が市の8割を占め、庄川や小矢部川の急流河川が北流するなど、豊かな自然に恵まれ、世界遺産の五箇山合掌集落など観光資源が多くあります。平野部では、アルミ、橋梁、建築建材、工作機械等の製造業が発展しています。南砺市には、福野支店、井波支店、

● 南砺市市内の4支店



福野支店（明治33年1月22日開設）



井波支店（明治34年3月15日開設）



福光支店（明治27年2月10日開設）



城端支店（明治27年1月20日開設）

支店のある町

上川郡美瑛町／富良野市(北海道)

雄大な風景と一体化し、 心と身体をリセットする町

花畑を抜けて、森の中へ…
星を眺めて、雲海の上へ…
いつもと違う歩き方で絵画の中の風景へ。
ゆつくりと流れる時間と雄大な景色が心を癒します。

赤い屋根のある丘(美瑛町)

丘のまち美瑛

美瑛町(びえいちょう)は北海道上川地方のほぼ中央に位置し、十勝岳連峰の麓に東京23区とほぼ同じ面積をもち、農業を基幹産業とする町が形成されています。写真家前田真三氏が美瑛の丘を撮影した写真がきっかけとなり、ヨーロッパの田園風景を思わせる「丘のまちびえい」としての第一歩を踏み出しました。

美瑛はアイヌ語の「ピイエ」より転訛したもので、開拓者が「ビエイ」と訛って呼んでいたものに「美しく、明朗で王者の如し」という意味

の「美瑛」の漢字があてられ、現在の「美瑛」と命名されました。

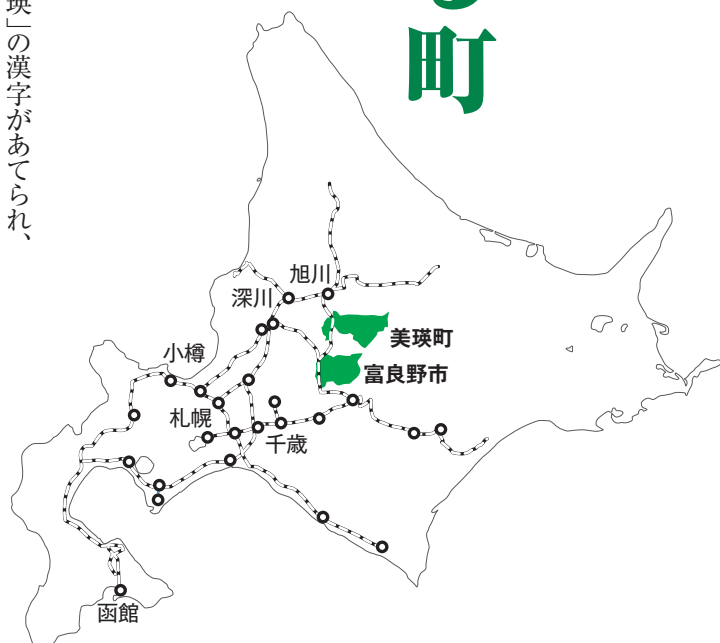
世界遺産白川郷のある岐阜県白川村、黒川温泉のある熊本県南小国町などと共に「日本で最も美しい村連合」に加盟しており、その事務局が美瑛町に置かれています。

じゃがいも・大麦・テンサイ・トウモロコシなどを中心とした畑作と、その野菜を加工する食品製造業、そして木材加工などが盛んです。

JR美瑛駅から約18kmに隠れた観光スポット「白金青い

池」があります。

温泉地区で湧出している水と美瑛川の水が混ざりコロイドが生成され、これが光の散乱を促し、青く見えると言われており、「青い池」と呼ばれるようになりました。



白金青い池

北海道を代表する 観光田園都市富良野

北海道のほぼ中央に位置する富良野市。その位置から「へそのまち」と呼ばれ、ラベンダーやテレビドラマ「北の国から」などで知られており、毎年多くの観光客が訪れます。

「FISワールドカップスキー富良野大会」は過去10回（1976～94年）開催され、全世界に「スキーのまち」として知られるようになりました。

また、当地を舞台に81年に



JR美瑛駅は美瑛町の石山の美瑛軟石で建築した駅舎。1987年にJRに変わってから改装し、観光客に「石造りの駅」として人気が高まり、北海道の駅の中でも人気の高い駅舎です。



風に漂うラベンダーの香り。富良野にはラベンダーを楽しむ場所が数多くあります。



富良野の豊かな自然を凝縮した「富良野チーズ工房」

初めて放映されたテレビドラマ「北の国から」では、夏のイベント「北海へそ踊り」や、丘陵を鮮やかに彩る「ラベ

ンダー」が紹介され、その後のシリーズ化とともに富良野人気は高まりをみせました。

富良野市では、人参、ほうれんそう、玉ねぎ、スイートコーン、かぼちゃ、メロンなどは全国でもトップクラスの作付面積を誇り、食の分野でも存在感を示しています。

食をテーマにした 新しい交流施設 「フラノ・マルシェ」

富良野市中心部に建設された「フラノ・マルシェ」は、農産物直売所、スイーツカフェ、土産物店、テイクアウトショップが配置されている新しい交流施設です。観光や商店街に関するインフォメーションセンター機能も備えており、施設中央に設置されたイベント広場では、地域の大きな資源である豊富な農産品の直売やフリーマーケットなど四季折々のイベントが開催されます。地域住民と観光客の交流拠点としても大きな役割を担っています。

美瑛町・富良野市と北海道銀行

美瑛町 明治33年に上川郡神威村（現旭川市の一部）から分村、上川郡美瑛村になり、大正4年には二級町村制、大正12年には一級町村制となり、昭和15年に町制が施行され、現在の美瑛町となりました。

富良野市 開拓は、明治29年に富良野原野殖民地区画の設定が行われました。

昭和31年9月町村合併促進法の適用を受け東山村と合併し新富良野町が誕生、10年後の昭和41年5月には山部町（昭和40年1月町制施行）と合併し道内29番目の都市として富良野市が誕生しました。

美瑛町には、美瑛支店、富良野市には、富良野支店と、それぞれ北海道銀行の支店があります。

ふらのワイン・ ふらのぶどう果汁

農業生産地帯の補完作物や、農家の自立経営を目標としてワイン用ぶどうの栽培に取り組みようになりました。自然休養村事業として農産物処理加工施設（ワイン工場）を建設し、原料用ぶどうの生産、ワイ

ンの醸造、販売までの一元化されたシステムを確立しました。



美瑛支店（昭和26年5月29日開店）



富良野支店（昭和26年11月8日開店）

写真提供／（社）美瑛町観光協会
富良野市役所
（社）ふらの観光協会

地域の一員として より豊かな未来づくりのために

ほくほくフィナンシャルグループでは、地域経済、地域社会の継続的な発展を目指すため、CSR（企業の社会的責任）を推進し、地域の皆さまや株主の皆さま、社会からのご期待に応えてまいります。



地域密着活動

地域のお客さまとの絆を第一に

街に賑わいと活気をもたらす 商店街として毎週訪れるファンも！

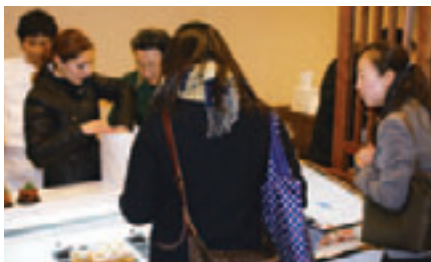
2010年2月富山市にオープンした「てるてる亭ほくほく通り」は、江戸の町並みをイメージした通りに、ミニシアターや越中からくり処など、様々な“お楽しみ”が設けられ、地元商店街の賑わいづくりに一役買っています。

規格外野菜や無農薬野菜を低価格で提供している、大好評の「野菜アウトレット富山」に加え、昨年秋から市内人気料理店のシェフが工夫を凝らした「シェフの総菜コーナー」も新設しました。また、「富山とうふ祭り」、「蚤の市」などユニークなイベントも開催され、大勢の家族連れやカップルで賑わっています。

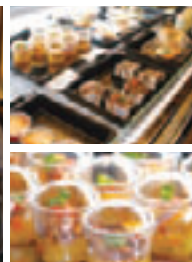


てるてる亭ほくほく通り

●てるてる亭ほくほく通り：北陸銀行



シェフの総菜コーナー



富山とうふまつり



ハンドメイドフェア

「花に包まれた美しい街に」 50年以上前から 毎年地元札幌のまつりに参加

「札幌をライラックの花に包まれた美しい街に」との願いを込めて、昭和34年より毎年「さっぽろライラックまつり」に協賛しています。昭和50年からは、ライラックの苗木をプレゼントしており、皆さまのご家庭の庭木として親しまれています。

●さっぽろライラックまつり：北海道銀行



ライラックの苗木プレゼント





金融教育

金融機関としてのノウハウを活かした催しを企画

学生を対象としたインターンシップ・職場体験学習や地元大学における金融関連講座への講師派遣、次代の経営を担うマネジメント層向けの講座を開催するなど、地域の皆さまに向け子どもから経営者層まで幅広く金融知識の普及に向けた取り組みを行っています。

次世代を担う人たちに金融を知ってもらうために

●エコノミクス甲子園



全国大会、その先のニューヨーク研修旅行への切符をかけ、札幌、富山、福井で地区大会を開催しました。

●親子で銀行体験：北海道銀行



夏休みと冬休みの時期に合わせ、年2回開催しました。



産学連携支援活動

大学の研究成果を地元企業に橋渡し

当グループでは、産学連携が活発に行われることは、学術面の振興のみならず、地域経済の活性化に大きく寄与するものと考え、地域の大学などと連携協力協定を締結し、地元企業との共同研究や研究成果の仲介、知的財産を活用したビジネスマッチングの推進などの支援をしています。

地元企業と学生との交流を支援

●北海道大学観光学高等研究センターとの連携協力協定締結：北海道銀行



観光分野で相互協力を深めています。

●帯広畜産大学との包括連携協定締結：ほくほくFG



連携協定締結記念としての植樹。



環境への取り組み

美しい自然をいつまでも残すために

北陸銀行では、森をつくる運動や地域の清掃活動などに積極的に参加。省エネ効果を狙ったグリーンカーテンなど環境を守る活動を実施しています。

北海道銀行でも、引き続き「道銀の森」で第2回目となる植樹を開催。各営業店でも地方公共団体と連携し、植樹活動を積極的に行っています。

●ゴーヤのグリーンカーテン：北陸銀行

園児と一緒に苗から植えたゴーヤが立派なグリーンカーテンに育ちました。



環境の維持・保全に配慮

●越前おおのエコフィールド参加：北陸銀行



●道銀の森フォレスト運動：北海道銀行



足寄町開町100年記念「町民ボランティア「道銀の森」第2回目の植樹アの森づくり」に参加





芸術文化貢献

街なかに潤いを生む 「ミニ美術館」として アートギャラリーを設置

北陸銀行では、店舗の外壁に美術作品の展示スペースを設けた「ほくぎんアートギャラリー」を設置し、地元作家や地域の大学で美術や工芸を学ぶ学生に作品発表の場を提供しています。いずれも環境にやさしいLED照明を採用するとともに、作品が引き立つようデザインにも工夫を凝らし、「街の中のミニ美術館」として、地域の方々から親しまれています。

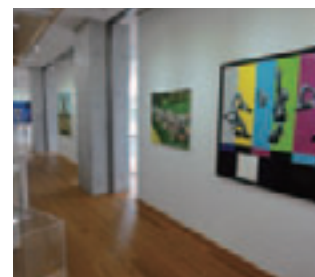


本店営業部

●アートギャラリー：北陸銀行



五福支店



金沢問屋町支店



犀川支店



小立野支店

美しい音楽をより身近に

5月11日(水)北海道銀行創立60周年記念「道銀ライラックコンサート」を開催しました。

「気軽に美しい音楽に触れてもらいたい」、「北海道の文化を身近に感じてもらいたい」との想いから、平成2年に始まった「道銀ライラックコンサート」は今年で25回目を迎えました。

札幌コンサートホールKitaraに1900名のお客さまをご招待し、道銀文化財団の「第20回道銀芸術文化奨励賞」を受賞したギターの宮下祥子さんと札幌交響楽団によるクラシックの競演をお楽しみいただきました。

北陸銀行では、金沢市に本拠を置くオーケストラ・アンサンブル・金沢による「イワキ・メモリアル・コンサート」の開催や、毎年春に開催される「ラ・フォル・ジュルネ金沢」などの文化活動を支援することで、地域の皆さまに潤いに富んだ豊かな生活を提供するなど、芸術文化の振興に貢献しています。

●ライラックコンサート：北海道銀行



●イワキ・メモリアル・コンサート：北陸銀行





スポーツ振興

創立60周年記念事業として 女子カーリングを応援

北海道銀行では従来より、“どさんこバンク”としてスポーツ振興を含めたCSR活動の推進に取り組んでいます。「北海道日本ハムファイターズ」のオフィシャルパートナーやフットサルの「エスポラーダ北海道」のスポンサー等を通じ地域活性化に向けた活動を行っています。



北海道銀行×エスポラーダ北海道
「北海道銀行MATCH DAY」を開催

日本ハムのキャラクター入り
キャッシュカード



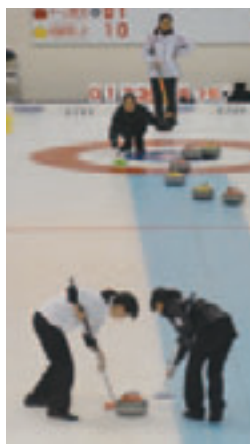
地元のチームを
盛り上げ街も元気に

●女子カーリングチーム：北海道銀行



「北海道銀行フォルティウス発表記者会見」

左からジュニアの星 吉田 知那美選手
オリンピック経験のある 船山(旧姓 林)弓枝選手
同じくオリンピック経験者の 小笠原(旧姓 小野寺)歩選手
新メンバー 小野寺 佳歩選手



「日本ジュニアカーリング
選手権大会」

特に、カーリングは、北海道カーリング協会・日本カーリング協会の初代会長に森鼻元頭取が就任するなど、普及活動に関与してきました。1982年には行内でも「カーリング部」が設立され、翌年には「行内カーリング大会」も開催されました。

また、2012年には札幌市内にカーリング専用施設が建設される予定で、より身近にカーリングを楽しむ環境が整うことになります。

今後もスポーツを通じて、北海道が元気になる活動を続けていきます。

富山初の プロサッカークラブを応援

北陸銀行では、地元JFL2チームが母体となり誕生した富山初のプロサッカークラブでJ2所属のカターレ富山のスポンサーとして、スポーツ振興を通じた活気あふれる地域作りを応援しています。

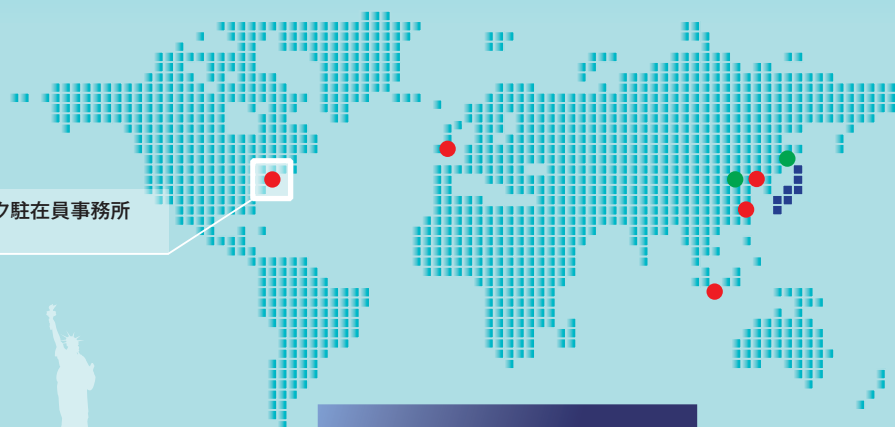
●J2カターレ富山を応援：北陸銀行



©KATALLER TOYAMA



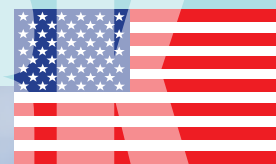
地域経済の国際化を ニューヨークからサポート



ニューヨーク駐在員事務所
(北陸銀行)

駐在員レポート

in NEW YORK



世界の金融経済の中心ニューヨーク証券取引所

魅惑の「人種のるつぼ」

「ビッグアップル」、「24時間眠らない街」とも形容される米国最大の都市ニューヨーク。そこは世界屈指の金融センターであり、商業・文化・ファッション・エンターテインメントでも世界の最先端を行く街です。人口は8百万人を超えていますが、その約36%が米国以外の出身者であり、市内には100を超える民族が住み、120を超える言語が話されています。ニューヨークが「人種のるつぼ」と呼ばれるゆえんがそこにあり、競争がこの街の活力の源でもあります。

レポート：北陸銀行ニューヨーク駐在員事務所長

日景 繁夫



エンターテインメント満載

ニューヨークでは文化系・体育会系のいずれにおいても世界一流のエンターテインメントを観ることができます。ニューヨークには北米4大プロスポーツである野球、アメフト、バスケットボール、アイスホッケーの全てのプロチームが本拠地を置き、舞台芸術では著名なミュージカル・オペラ等が常時上演され、世界最大規模の美術館や博物館もあつて、年間約48百万人とも言われる観光客のみならず、ニューヨーク市民を常に楽しませてくれます。

テロとの戦いの歴史

ダウンタウンのファイナンシャルエリアにかつてそびえたっていた「世界貿易センタービル」のツインタワーは現在はいまありません。1993年の地下駐車場爆破事件に始まり、常にテロの標的にされてきた同ビルがあつた「2001・9・11事件」によって崩壊してしまったことは未だ記憶に新しいところです。その跡地「グラウンドゼロ」では、現在新たな世界貿易センタービル「フリーダムタワー」が建設中です。その高さは、米国の独立年1776年にちなんで1776フィート（約541m）となる予定であり、その完成はテロとの戦いに対する米国民の「不屈の精神」を象徴するものと期待されています。



写真左から国連ビル、グラウンドゼロ（上）、ロックフェラーツリー（下）、自由の女神、タイムズスクエア

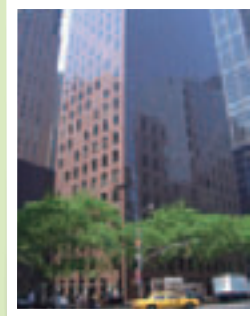
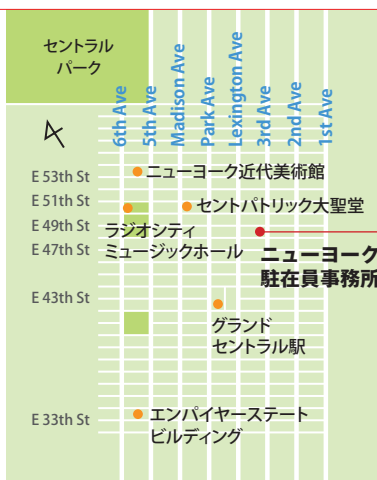
ウォール街で名高い世界金融の中心地で

北陸銀行◎ニューヨーク駐在員事務所

780 Third Avenue, 28th Floor, New York, NY 10017, U.S.A

TEL : 1-212-355-3883 FAX : 1-212-355-3204

日本との時差 : -14時間(夏期 -13時間)



NY.駐在員事務所が入居するビル

Welcome to New York
日本と米国を結ぶ
ビジネスの「架け橋」に。



ニューヨーク駐在員事務所メンバー

米国との間の太平洋の「架け橋」としての役割を担う活動をしてまいります。

北陸銀行がニューヨークに拠点を開設したのは1977年。当時の拠点開設の最大の目的は、国内お取引先の米国進出支援であり、次いで世界の金融経済の中心地ニューヨークでの情報収集、人材育成でした。それは30年あまり過ぎた今でも変わっておりません。現在、米国へ進出されているお取引先は約60社で、その数は当地に拠点を構える日本の地方銀行の中でもトップクラスです。進出エリアはニューヨーク近郊はもとより、古くから米国自動車産業で栄えたデトロイトがある中西部から、米国繊維産業発祥の地南北キャロライナ・ジョージア等の南東部、カリフォルニアの日系企業が眩しい西海岸等、広範囲に亘っております。今後でも当事務所は、お客さまのビジネスにおける、日本と

CS向上 への 取り組み

常にお客さまへの
サービス向上を追求し、
様々な取り組みを行っています。

● CS (Customer Satisfaction = 顧客満足度) 向上研修

北陸銀行では、営業店でのCS向上への取り組みとして、ホテルなどでの異業種派遣研修の実施や、地域の老舗料亭の女将やコンサルタントを招いて、「おもてなしの心」や「コミュニケーションスキル」を学ぶ研修を実施しています。

異業種現場での顧客応対やおもてなしのスペシャリストから直にCSの心得を学ぶことで、店頭でのCS向上に取り組んでいます。

北海道銀行では、本部・営業店の職員が一堂に会し、お客さまからの要望や接遇応対の向上について話し合う「CS向上会議」を開催し改善に繋げています。また、各営業店では地区毎にCS向上研修やセミナーを実施し、CSのプロから「応対・マナー」の現地指導を受けるなどの活動を展開しています。



● 認知症サポーターの養成

認知症の方やその家族の方への理解を深め、認知症の高齢者が地域で安心して暮

らせる環境づくりに貢献するため、「認知症サポーター養成講座」を開催しています。

「認知症サポーター」とは、認知症について正しく理解し、認知症の方やその家族の方を温かく見守る応援者として地域社会において活動する人のことであり、所定の「養成講座」を受講することにより認定されます。受講した職員にはサポーターとしての証しの「オレンジリング」が手渡されます。



● 「振り込め詐欺」防止への取り組み

お客さまの大切なご預金をお守りするため、振り込め詐欺防止チェックシートの制定のほか、地域の警察署と連携した振り込め詐欺撲滅キャンペーンや防止訓練を実施しています。

平成22年度は、振り込め詐欺の未然防

止は北陸銀行・北海道銀行合わせて47件、約3,973万円となりました。今後も、本支店一体となり、振り込め詐欺の未然防止に努めてまいります。



● ロールプレイング大会

お客さまをお待たせしない窓口に加え、店頭での説明力向上を目的に、窓口テラーのロールプレイング大会を実施しています。7地区で地区大会を実施し、その上位入賞者による全国大会を開催する予定です。

参加者からは、「正確・迅速・丁寧な窓口対応に加え、お客さまとのコミュニケーション

の重要性や難しさを改めて実感した。」「お客さまとの会話を大切に、ニーズを的確に把握できるよう対応技術の向上に取り組みたい。」との意見が多く寄せられました。



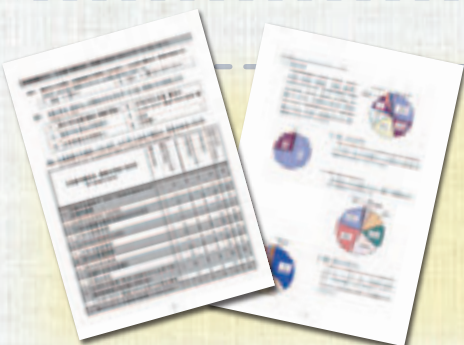
● ミステリーショッパーによる店舗調査

北海道銀行では、外部機関のミステリーショッパー（覆面調査員）による店舗モニタリング調査を実施しています。

この調査では、職員の接客・マナーや身だしなみ・店舗設備・ロビー状況についてお客さまの目線でチェックを行います。また、店舗への調査はあくまでも「ミステリー（覆面）」で

行われるため、実態に基づいてチェックしています。

外部の調査機関を活用した客観的な視点も取り入れ、お客さまにご満足いただけるサービスの向上に取り組んでいます。



● お客さまアンケートの実施

個人・法人のお客さまにご協力をお願いし、ており、今後の営業方針やCS向上の基礎資料として活用してまいります。

アンケートへの回答には、各種サービスやご協力いただき誠にありがとうございました。ご協力いただき誠にありがとうございました。

○ ご意見はこちらへ
— お客さまの声受付体制 —

【ご意見ポスト】



店頭に備えており、ご意見やご要望をお寄せいただいております。

【お客さまアンケート】



より一層ご満足いただけるサービスを提供できるようアンケートを実施しております。

【インターネット】



●北陸銀行
<http://www.hokugin.co.jp/>
●北海道銀行
<http://www.hokkaidobank.co.jp/>

【お電話】



北陸銀行お客さま相談室
0120-010-985
北海道銀行お客様相談室
0120-910-444

2010.6 → 2011.5

ほくほくFG
PICK UP
NEWS

MEMO

お客さまに
いつも寄り添う
サービスを

お客さまの
身近に広がる
ネットワークの充実や、
サービスの情報などを
ピックアップして
ご紹介します。

■北陸銀行
2010.6

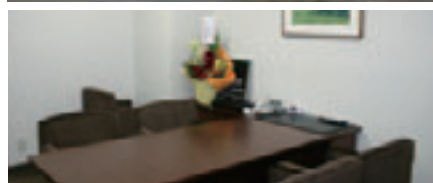
「ビジネス・サミット2010」東海・北陸発！ 食と環境のビジネス大交流」

北 陸銀行では、大垣共立銀行と
共同して、食と環境をテーマ
にした商談会「ビジネス・サミット
2010」を名古屋市中で開催しました。
134の企業・団体が出席し、北陸
からは31社がブースを構え、販路拡
大に向けて自社商品をPRしました。
当日は、約2600人が来場し、全
国のデパートやコンビニなど81社のバイ
ヤーと北陸や東海から出展した134
の企業・団体の間で約1100件の商
談が行われました。



■北海道銀行
2010.6

「山鼻支店」移転開店



6 月7日、石山通出張所が山
鼻支店に名称変更し、商業
施設「プロム山鼻」の1階に移転オ
ーブンしました。
山鼻支店は、北海道銀行の
129番目の店舗となり、落ち着いた
雰囲気や資産運用のご相談をい
ただける相談専用ブースや、全自動
貸金庫を設置するなど機能を強化
しています。
これからも、地域に親しまれる支店
づくりを行ってまいります。

■北陸銀行
2010.6

5出張所が支店昇格

中

期経営計画「ハイブリッド
I・S・M2010」の店舗戦略に基づいて、6月に高岡町、7月に南
富山、そして11月には小松南、光が丘、
太閤山の各出張所が、それぞれ支店に
昇格しました。フルバンキング機能を備えつつ、個人
や家業の皆さまへ充実したサービスを
提供することで、これまで以上にそれ
ぞれの地域で「親しまれ、頼りにされ
る銀行」を目指してまいります。

高岡町支店



南富山支店



小松南支店



光が丘支店



太閤山支店

■北海道銀行
2010.8函館、苫小牧、釧路、旭川道内四高専
モノづくり企業見学ツアー開催

道

内4高専との包括連携協
力に基づく事業として、8月2
日より第3回目となる視察ツアーを
開催しました。2泊3日の日程で高専3年生21
名(男性12名、女子9名)、引率の先
生4名合計25名が参加し、北海道銀
行のお取引先を中心に4社を訪問
しました。ハイブリッドロケットエンジンの燃焼実
験など製造現場を肌で感じる貴重な
体験となりました。■北海道銀行
2010.9

第7回「北海道の『食』特別商談会」

9月14日、「北海道の『食』特別
商談会」を開催しました。この商談会は、道内メーカーが作っ
た食品の首都圏や関西の百貨店や
スーパーなどへの販路拡大をお手伝
いするもので、今回で7回目の開催
となりました。北海道の水産加工品、農畜産物、
飲料製造など42社が参加されまし
た。また大手百貨店、高級スーパー、
通信販売業者、外食チェーンなどの
バイヤー32社に参加いただき個別商

談会が行われました。

この日は350件の商談が行わ
れ、道外企業の仕入れ担当者や製造
方法や販
売面での
改善点
などにつ
いて話し
合われま
した。

■北陸銀行
2010.10

金沢問屋町支店新築移転オープン

10月25日、金沢問屋町支店が
新築移転オープンしました。

新店舗は、旧店舗から約300メートルほど離れた、県道近岡諸江線沿いの「金沢問屋団地」の玄関口に位置しています。

金沢市大野地区の醤油蔵をイメージし、「瓦屋根に漆喰壁といった金沢の街にマッチした外観とし、能登産ヒバ材を使ったウッドデッキの設置、石川県産スギ材のフローリング、ロビーや応接室壁面には能登産珪

藻土を用い、地産地消にこだわった店舗となっており、また、店舗内外には「ほく

ぎんアートギャラリー」を設け、金沢美術工芸大学生などの作品を展示しています。



■北海道銀行
2010.12

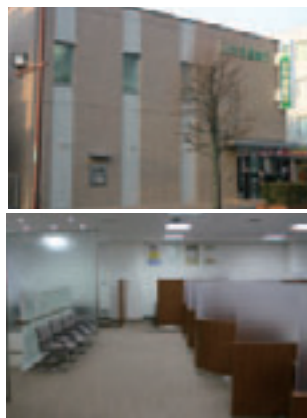
室蘭支店オープン

12月6日、室蘭支店が移転オープンしました。

室蘭支店と東室蘭支店が同一店舗となり、室蘭支店兼輪西支店の店舗は、店名を室蘭駅前支店に変更し引き続き営業しております。

新店舗では、落ち着いた雰囲気と資産運用等をご相談いただける「相談ブース」や、お持ちの貴重品等を安心してお預けいただける「全自動貸金庫」を設置しています。また、住宅ローンのご相談やお申し込みを専門に受付す

る「住宅ローンプラザ」を併設し、より便利にご利用いただける店舗としております。



■北海道銀行
■北陸銀行
2010.12

「中国銀聯公式オンラインショッピングモールを 活用した販路拡大セミナー」開催

12月21日、北海道銀行本店ビル6階において「中国銀聯公式オンラインショッピングモールを活用した販路拡大セミナー」を開催しました。

このセミナーは、自社商品の販路拡大を検討している事業者を対象とし、6億人超の会員を有する中国・銀聯（ぎんれん）公式のオンラインショッピングモール「銀聯在線商城 日本館」を分かりやすくご案内させていただくもので、当日は60団体90名のお客さまにご参加いただきました。

また、本セミナーは、11月に北陸三県でも開催しており、各地で大変ご好評をいただきました。2月に帯広、旭川、函館においてもセミナーを開催しました。



■北海道銀行
2010.12

「年末ジャンボ宝くじ付き定期預金」で またも高額当せん誕生!!

北海道銀行の人気商品「夢がついてくる」年末ジャンボ宝くじ付き定期預金」にお預け入れいただいたお客さまに、1等および1等前後賞（計3億円）の高額当せんが誕生しました。

また、北海道銀行の宝くじ付定期預金からの1億円以上の高額当せん者は、年末ジャンボ宝くじ、サマージャンボ宝くじを合わせて平成19年より毎年連続して誕生しており、さらに話題を呼んでいます。



■北陸銀行
2011.1

大連駐在員事務所開設



北

陸銀行では、5カ所目の海外拠点として中国・大連市に駐在員事務所を開設しました。

大連駐在員事務所は、大連を中心とした東北地域、北京、天津などの華北地域を担当エリアとし、お取引先に対し、同地域の経済・金融に関する情報提供を行うとともに、進出企業や進出予定企業のビジネスをサポートしていきます。

また、ビジネスマッチングや政府機関との連携強化も図っていきます。

■北陸銀行
2011.3

「ほくぎんポイント倶楽部サロン」オープン

高

岡市の中心市街地賑わい創出事業に協力して、北陸銀行の会員顧客向け施設「ほくぎんポイント倶楽部サロン」を御旅屋セリオ6階にオープンしました。

サロン内には、会員の皆さまがゆったりと寛げる「ミニテイススペース」、各種セミナーを開催するセミナールームを設けています。

また、街の中の小さな美術館として、施設の内外に「ほくぎんアートギャラリー」を設置し、訪れる皆さまに心が落ち着く空間を提供いたします。

■ほくほくFG
2011.3

東日本大震災義援金・支援物資寄贈

こ

この度の震災の被災者の皆さまにお役立ていただくために、平成23年3月に、グループの北陸銀行および北海道銀行をはじめ、関連会社全体で7千万円の義援金を寄贈いたしました。

また、被災者の方々へ飲料水や毛布等の緊急支援物資や医薬品セットの配布のほか、災害復旧に従事する陸上自衛隊北部方面隊へ顧客贈答用タオルの寄贈を行いました。

このほか、店頭では融資等相談窓口



や義援金受付口座の開設、被災地域の他行12行の預金代理払戻し等の対応を行っております。

■北陸銀行
■北海道銀行
2011.5基幹システムを横浜銀行との3行共同
オンラインシステム(MEJAR)へ移行

中

期経営計画「Road to 10」では3行共同利用システムの安定稼働と戦略的活用を目標に掲げ取り組んでおります。

新システムの活用により、お客さまの利便性の向上をはじめ、事務の共通化、バックオフィスの共同化、開発コストの低減、人員捻出による営業力増強などを進め、グループのシナジー効果を加速させてまいります。



60年の感謝をこめて これまでも これからも



北海道銀行は、平成23年3月5日(土)に創立60周年を迎えました。

これもひとえに、お客さま、株主の皆さま、地域の皆さまからのあたたかいご支援、ご愛顧の賜物と役職員一同心より感謝申し上げます。

北海道銀行は、戦後復興期の昭和26年3月5日、全道各地の商工会議所や道民の皆さまから「より地域に根ざした新銀行を」という強い要望により設立されました。以来60年に亘り、地域金融機関として円滑な資金供給と充実した金融サービスの提供に努め、地域の発展に取り組んでまいりました。

これからも「どさんこバンク」として、地域の皆さまとともに歩んでまいります。

北海道銀行では、日頃ご愛顧いただいております皆さまへ60年間の「感謝の気持ち」をお伝えするとともに、創立60周年を契機として改めて「真に地域に根ざした愛される道銀」、「ますます元気な道銀」を目指し、さまざまな記念事業を実施しております。

1. 記念事業コンセプト

以下の3つのコンセプトから各事業を実施しております。

- (1) お客さまへ感謝をこめて
- (2) 地域の皆さまへ感謝をこめて
- (3) その他

お客さまへ感謝の気持ちをお伝えするとともに、お客さまの満足度向上に繋がる事業
地域振興、文化振興、次世代育成支援、環境保全、社会貢献に関する事業
上記の他、創立60周年を記念し実施する事業

2. 主な記念事業

< お客さまへ感謝をこめて >

● 宝くじ付住宅ローン

期間中に所定の条件に合致した住宅ローンをご利用いただいたお客さまに、宝くじを進呈いたします。

(実施時期：平成23年1月～平成24年3月)



● 60周年感謝キャンペーン

期間中に対象商品の新規お申込や継続お取引で一定の条件を満たし、本キャンペーンにご応募いただいたお客さまのなかから、抽選により景品を進呈いたします。

(実施時期：平成23年1月～平成23年12月)



< 地域の皆さまへ感謝をこめて >

● 道銀美術展

所蔵している絵画・彫刻等を広く道民の皆さまにご紹介する特別展を開催いたします。

(平成24年2月予定)

< その他 >

● 新制服制定

お客さまが銀行に求める「信頼感」「安心感」「親しみやすさ」の向上を目的とし、これまで以上にお客さまから信頼され真に愛される銀行を目指すため、店頭の顔である制服を変更いたしました。

(平成23年4月1日より)



● 新マスコットキャラクターの制定

名前はタロー、ハナコです。初代キャラクターとして昭和34年に制定され、お客様に親しまれた「北海太郎」を現代版にアレンジして制作しました。ハナコはタローのパートナー、動物たちは仲間です。



北海道銀行60年のあゆみ

1951 (昭和26年)

北海道内各地の企業の熱い期待を担って
北海道銀行が誕生

戦後、経済復興に向け普通銀行設立の気運が高まる北海道。商工会議所などの決議を受け、道民が自らの手で立ち上げたのが北海道銀行です。



1964 (昭和39年)

札幌市中央区大通西4丁目の現在地に
本店ビル竣工

旧本店から12階建ての本店ビルへ。総面積は当時東京以北最大で、ロードヒーティングも敷設されました。



1991 (平成3年)

創立40周年を記念して道銀文化財団設立

道内の芸術文化の発展に寄与することを目的に設立。「道銀芸術文化奨励賞」授与やコンサート、美術展など多彩な活動に取り組んでいます。



1968 (昭和43年)

札幌市に大通公園4丁目の大噴水寄贈

札幌市創建100年を記念して寄贈。中央のモニュメントは大自然にそびえ立つ大樹をモチーフとしたもので市民の憩いの場となっています。



2004 (平成16年)

北陸銀行と経営統合し
「ほくほくフィナンシャルグループ」設立

北陸銀行との経営統合で、わが国で初の広域地域金融グループが誕生。より質の高い金融サービスが提供できる体制へ。



1974 (昭和49年)

北海道銀行のロゴマークを
現在使用のものに改定

雪の結晶をかたどった正六角形で「安定と格調」、緑色で「豊かな自然を」。さらに放射状の線で、北海道と当行の「発展」を表しています。



2006 (平成18年)

海外進出による新たなビジネス展開へ

「世界の市場」として注目を集める中国に瀋陽駐在員事務所を開設。2009年には極東ロシアの発展を見据えユジノサハリンスクにも駐在員事務所を開設しました。



当社グループでは、2010年4月から3年間で「持続的成長に向けた新たな挑戦の期間」と位置付け、中期経営計画「Road to 10」をスタートさせております。

経営統合以来の経営の3つの柱である「営業力の強化」「経営の効率化」「経営基盤の安定化」を一層進めるべく、公的資金完済後の新たな経営課題に取り組むことで、グループ預金量10兆円に向け、着実に歩を進めております。

■ 計画の概要

名 称	中期経営計画 “Road to 10”
期 間	3年間(2010年4月～2013年3月)
位 置 付 け	持続的成長に向けた新たな挑戦の期間 ～預金量10兆円金融グループへの足固め～
目指すグループ像	地域から親しまれ、頼りにされる金融グループ
取 り 組 む 課 題	1. 不透明な経済環境に対応できる安定的収益基盤の構築 2. 3行共同利用システム安定稼働・戦略的活用と人員・店舗の営業インフラ整備 3. 新自己資本比率規制、増配、民間優先株償還に向けた剰余金積上げ

■ 計画の基本方針

中期経営計画 “Road to 10” 持続的 成長に向けた 新たな挑戦の 期間	I. 営業力の強化	II. 経営の効率化	III. 経営基盤の安定化
	■ 収益基盤の拡充・強化 ■ お客さま目線でのコンサルティング営業 ■ 有価証券運用の拡大	■ 3行共同利用システムの安定稼働・戦略的活用 ■ シナジー効果の更なる追求 ■ 営業人員の増強	■ 資本の質の向上 ■ 普通株式の段階的増配

■ 2013年3月期目標とする計数（2行合算・連結）

	2010年3月期(実績)	2011年3月期(実績)	2013年3月期(目標)
総預金平残	8兆9,348億円	9兆2,776億円	9兆5,500億円
貸出金平残(部直前)	7兆967億円	7兆1,133億円	7兆2,000億円
コア業務純益	664億円	567億円	700億円
連結当期純利益	192億円	184億円	255億円
連結自己資本比率(連結Tier1比率)	10.83%(7.05%)	11.29%(7.45%)	11.5%以上(7.5%以上)
OHR	58.68%	63.47%	58%
ROA(コア業務純益ベース)	0.68%	0.56%	0.68%
ROE(連結当期純利益ベース)	5.12%	4.60%	6%以上
不良債権比率	2.98%	2.96%	3%程度

I. 営業力の強化 “トリプルR”の実践により、「地域から親しまれ、頼りにされる金融グループ」を目指す

Retail ～親しまれる～

取引先数拡大と取引多面化・
メイン化推進

Region ～地域密着～

顧客利便性を考慮した店舗機能の提供
企業誘致、産学官連携、CSR、
地域の成長業種支援

Relation ～頼りにされる～

活発なソリューション営業の展開

II. 経営の効率化 3行共同利用システムの安定稼働・戦略的活用

’11年5月稼働開始

シナジー効果の加速

横浜銀行

’10年1月先行稼働

3行システム共同利用 MEJAR

北陸銀行

2ブランド営業

北海道銀行

開発コストの低減

共同調達
システム機器・帳票

研修・監査
共通化拡大

事務取扱要領共通化
管理計表共通化

制度変更対応共通化
時価会計・IFRS
新自己資本比率規制

事務手続共通化

バックオフィス
共同化拡大

ほくほく債権回収
北海道事業本部(’10年3月)
富山事業本部(’10年9月)

経費抑制

人員捻出による
フロントシフト

経営管理
ガバナンス強化

III. 経営基盤の安定化 収益の積上げによる資本の質の向上

自己資本比率・Tier1比率 (FG連結)

自己資本比率

10.83%

11.29%

11.5%以上

Tier1比率

7.05%

7.45%

7.5%以上

繰延税金資産
対Tier1比率

21.03%

17.14%

10.0%以下

収益によるTier1積上げ

’10/3実績

’11/3実績

’13/3計画

自己資本比率12%、
Tier1比率8%を展望

自己資本の
質の向上

普通株式の
段階的増配

※本計画には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化などにより、見通しと異なる可能性があることにご留意ください。

—2011年3月期の業績をご報告をいたします—

営業の概況＜ほくほくフィナンシャルグループ連結＞

(単位：億円)

	22年度		21年度
		前年度比	
経常収益	2,146	△120	2,267
経常利益	372	+18	354
当期純利益	184	△8	192
自己資本比率	11.29%	+0.46%	10.83%

当社における当連結会計年度の業績につきましては、連結経常収益は前年度比120億円減少し2,146億円、連結経常利益は前年度比18億円増加し372億円、連結当期純利益は前年度比8億円減少し184億円となりました。

連結自己資本比率は前年度比0.46ポイント上昇し11.29%となりました。

営業の概況＜北陸銀行・北海道銀行＞

(単位：億円)

	2行合算		21年度
	22年度	前年度比	
経常収益	1,958	△115	2,074
コア業務粗利益	1,554	△55	1,609
経費(臨時処理分を除く)	986	+42	944
コア業務純益	567	△97	664
与信費用	145	△109	255
有価証券等関係損益	△10	△13	2
経常利益	370	+1	368
当期純利益	196	△63	260

銀行の本来業務の収益力を表すコア業務純益は、役務取引等利益やその他業務利益の減少と、3行共同利用システムへの更改に向けた経費の増加もあり、前年度比97億円減少の567億円となりました。

経常利益は、与信費用が前年度から大幅に減少し、前年度並みの370億円となりました。

当期純利益は、前年度に計上した特別利益がなくなったことなどにより196億円となりました。

(単位：億円)

	北陸銀行		21年度
	22年度	前年度比	
経常収益	1,088	△48	1,137
コア業務粗利益	885	△15	901
経費(臨時処理分を除く)	538	+20	518
コア業務純益	346	△36	383
与信費用	71	△63	134
経常利益	229	+29	199
当期純利益	119	△37	156
自己資本比率	11.32%	+0.52%	10.80%

(単位：億円)

	北海道銀行		21年度
	22年度	前年度比	
経常収益	870	△67	937
コア業務粗利益	668	△39	708
経費(臨時処理分を除く)	447	+21	426
コア業務純益	221	△60	281
与信費用	74	△45	120
経常利益	141	△28	169
当期純利益	77	△26	103
自己資本比率	10.59%	+0.40%	10.19%

Hokuhoku Financial Group

預金(含む譲渡性預金) <2行合算>



貸出金 <2行合算+分割子会社>



金融再生法開示債権<2行合算+分割子会社>



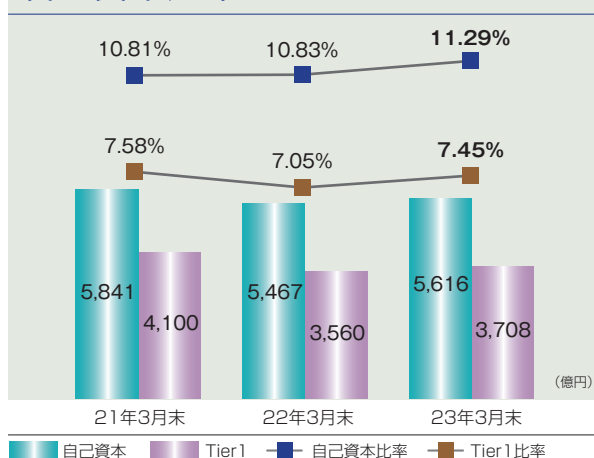
景気の低迷が続く中、金融再生法開示債権は22年3月末比53億円増加し、2,205億円となりました。開示債権比率は2.96%と引き続き低位に推移しております。

用語の解説

■ **金融再生法開示債権**・・・金融再生法(金融機能の再生のための緊急措置に関する法律)に基づく基準により、公表しています。

■ **開示債権比率**・・・総与信に占める金融再生法開示債権の割合を示しています。この比率が低いほど健全性が高いといえます。

自己資本比率 <FG連結>



財務の健全性を示す自己資本比率は、22年3月末比0.46ポイント上昇し11.29%となりました。

利益の積み上げにより内部留保が増加したことでTier1は22年3月末比148億円増加し3,708億円、自己資本も148億円増加し、5,616億円となりました。

用語の解説

■ **自己資本比率**・・・自己資本(資本金や利益の蓄積等)が資産に比べてどの程度充実しているかを示します。この比率が高いほど安全性・健全性が高いといえます。

■ **Tier1比率**・・・リスク・アセット(貸出金等の資産)に対するTier1(自己資本の基本的項目である資本金・資本剰余金・利益剰余金等)の割合を示したもので銀行の本質的な健全性を示すものです。

※ 業績説明に使用している計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しております。



<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

設 立 日	平成15年9月26日
本店所在地	富山市堤町通り1丁目2番26号
事 業 目 的	傘下子会社の経営管理、ならびにそれに付帯または関連する業務
資 本 金	708億9,500万円
上 場 取 引 所	東京証券取引所(第一部) 札幌証券取引所

■ ほくほくFGのあゆみ

- 2003** 5月 ● 北陸銀行と北海道銀行が経営統合を基本合意
9月 ● 銀行持株会社(商号:ほくぎんフィナンシャルグループ)を設立し、北陸銀行を完全子会社化
- 2004** 9月 ● 北海道銀行を完全子会社化
● (株)ほくほくフィナンシャルグループに商号変更
- 2009** 8月 ● 公的資金を完済
- 2011** 5月 ● 基幹システムを北陸銀行・北海道銀行・横浜銀行の3行共同オンラインシステム(MEJAR)へ移行



<http://www.hokugin.co.jp/>

設 立	昭和18年7月31日(創業明治10年)
本店所在地	富山市堤町通り1丁目2番26号
資 本 金	1,404億952万円
頭 取	高木 繁雄

北陸銀行は、加賀前田家の出資(7割)を受け、明治10年8月26日に設立された金沢第十二国立銀行を起点としており、今年で創業から134年を迎えました。北陸・北海道を主要営業基盤とし、三大都市圏にも店舗展開する他に類を見ない広域地銀として発展してきました。

積極進取の気風で先進業務にも積極的に取り組み、国際業務、証券やEB業務など総合金融業務で地銀トップレベルにあります。

地域密着型金融の本質である「地域とともに生きる」という高い志のもと、皆さまとともに歩み、地域社会とともに成長・発展することを目指してまいります。

■ グループ企業

株式会社ほくほくフィナンシャルグループ

株式会社北陸銀行

- 北銀ビジネスサービス株式会社 文書管理・事務集中処理業務等
- Hokuriku International Cayman Limited 金融業務

株式会社北海道銀行

- 道銀ビジネスサービス株式会社 文書管理・事務集中処理業務等
- 道銀カード株式会社 クレジットカード業務、信用保証業務

- 北銀リース株式会社 リース業務
- 株式会社北陸カード クレジットカード業務
- 北陸保証サービス株式会社 信用保証業務
- 北銀ソフトウェア株式会社 ソフトウェア業務
- ほくほく債権回収株式会社 サービス業務
- ほくほくキャピタル株式会社 ベンチャーキャピタル業務



<http://www.hokkaidobank.co.jp/>

設 立	昭和26年3月5日
本店所在地	札幌市中央区大通西4丁目1番地
資 本 金	935億2,401万円
頭 取	堰八 義博

北海道銀行は、戦後復興期の昭和26年3月5日、北海道における新興産業の勃興と人口の急激な増加に伴う旺盛な資金需要に応えるべく、道内中小企業者の強い要望により設立されました。

こうした設立の経緯から、北海道のお客さまに円滑な資金供給と充実した金融サービスの提供を行うことを通じ、地域経済の成長に貢献することが、「北海道に根差したどさんこバンク」としての北海道銀行の使命であると考えております。

今後も、創業時の精神を忘れず、北海道の皆さまとともに歩んでまいります。

【 店舗ネットワーク 】

Hokuhoku Financial Group

平成23年6月末現在

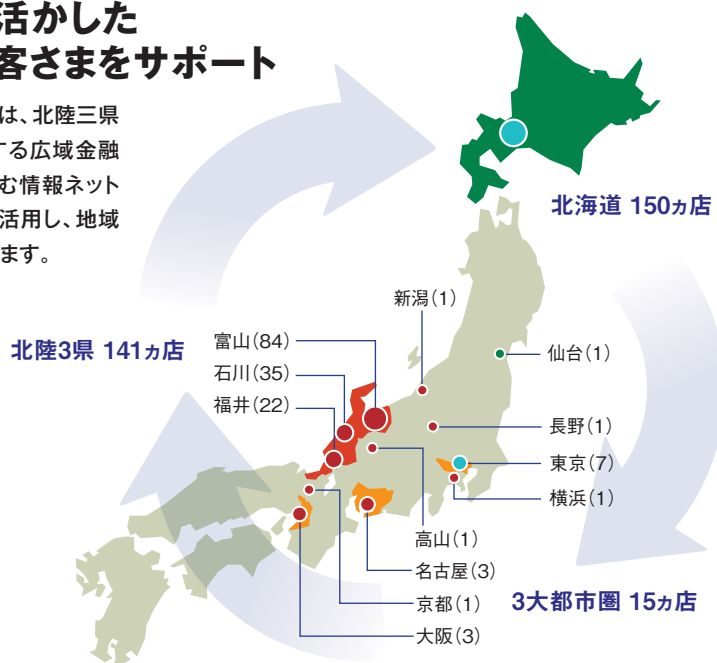
広域ネットワークを活かした 情報・サービスでお客さまをサポート

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域のお客さまの繁栄に貢献してまいります。

■ 国内店舗数

北陸銀行 177 北海道銀行 133

310 店舗
(特殊店舗を除く)



Hokuhoku Financial Group

Network

グローバルネットワークで海外進出をバックアップ

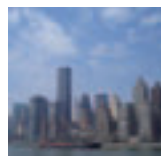
グローバル化の進展により、ますます活発化するお取引企業の皆さまの海外進出ニーズにお応えするため、当グループでは海外ネットワークの充実に努めてまいります。

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| ① ニューヨーク駐在員事務所(北陸銀行) | ⑤ 大連駐在員事務所(北陸銀行) |
| ② ロンドン駐在員事務所(北陸銀行) | ⑥ 上海駐在員事務所(北陸銀行) |
| ③ ユジノサハリンスク駐在員事務所(北海道銀行) | ⑦ シンガポール駐在員事務所(北陸銀行) |
| ④ 瀋陽駐在員事務所(北海道銀行) | |

■ 海外駐在員事務所

北陸銀行 5 北海道銀行 2

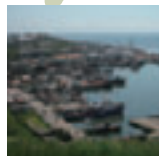
7 拠点



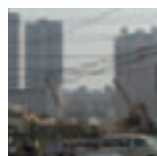
ニューヨーク



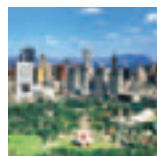
ロンドン



ユジノサハリンスク



瀋陽



大連



上海



シンガポール

地域と
あなたのために
もっと。



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
〒930-8637 富山市堤町通り 1丁目2番26号
Tel:076-423-7331
<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

株式会社 北陸銀行 総合企画部広報グループ
〒930-8637 富山市堤町通り 1丁目2番26号
Tel:076-423-7111
<http://www.hokugin.co.jp/>

株式会社 北海道銀行 経営企画部広報CSR室
〒060-8676 札幌市中央区大通西4丁目1番地
Tel:011-233-1005
<http://www.hokkaidobank.co.jp/>